

出 藍

創刊号 (月刊)
平成27年4月8日発行
兵庫県立三木高等学校
第70回生第1学年

70回生入学に際してのご挨拶とメッセージ

学年主任 井上 誠司

第70回生の皆さん、そして、保護者の皆様、ご入学おめでとうございます。
兵庫県立三木高等学校そして、私たち第70回生学年団は喜んで皆さんを歓迎します。

生徒の皆さん、4月はチューリップが開き、サクラの花が咲き、そしてすべての木々が若芽を開くときです。4月は英語で APRIL と言いますが、その語源はラテン語の「開く」だそうです。

学校も入学、進級と、この月から新しい年を開きました。私たちが胸に抱いた「希望」という花が、この4月という月から少しずつ開きはじめています。

4月の花で、日本人が特に好きなサクラの花があります。

サクラはバラ科に属していて、ヤマザクラ、ヒガンザクラ、ソメイヨシノ、サバザクラなど30種類以上数えられるそうです。サクラは日本書紀にも見え、万葉集にはサクラを詠ったものが43首載っています。でもサクラの語源ははっきりしていません。

サクラの語源には次のような説があります。

- ①開映え、サキハエ（栄える）→サクヤ→サクラ
- ②うららかに咲くから→サキウララ→サクラ
- ③咲く+「ら」→「ら」は「群がること」を表す
- ④「さ」は穀物の霊、「くら」は神様が来るところ→穀物の神様が集まる花
→豊作の神様の花

花に関する言葉で「養花一年 看花三日」という言葉があります。1年間の丹精によって育てた花も、見るのはわずか3日だけ、ということを表しています。

サクラはすぐに散ってしまう代表的な花です。でもサクラの木は、たった3日間の花を咲かせるために、寒さや暑さ、強風や雪に耐え、一年間の努力を惜しみません。そして3日間にその美しさを集めます。そんな花だから、私たちに愛されるのです。私たちもサクラのように、よい結果を得るために、一年の努力を惜しまないようにしたいと思います。

考えてみれば、私達の生活はすべて「養花一年 看花三日」の一語に尽きるのではないのでしょうか。

皆さんは本日より、三木高校の生徒として、大きな希望と期待に満ちた第一歩を踏み出すことになります。幾分の不安もあるかもしれませんが、千里の道もこの一歩から始まります。私たちは、これからの三年間が充実した素晴らしい日々になることを心から祈っています。

保護者の方に申し上げます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。信賴關係があつてこそ教育はうまくすすみます。有望な280名の若者の健全な成長と自己實現のために、ともに力を合わせて導いていけたらと考えております。今後、学校、PTA・育友会から多くのお知らせやご案内がご家庭に届くかと思ひます。これらを是非ご覧になつて、学校の活動や方針をご承知いただき、ご理解くだされば幸いです。お子様のかけがえのない3年間、限りない可能性を引き出すことができるように心強い応援団になつていただきますようお願ひ申し上げます。

= 70回生学年団紹介 =

学年主任	井上 誠司 (理科)	副主任	尾上 典宏 (体育)
1組担任	舟坂 竜哉 (数学)	2組担任	木村 綾 (国語)
3組担任	庄司 浩一 (数学)	4組担任	櫻木 由佳 (英語)
5組担任	増本 慎太郎 (地歴)	6組担任	石田 紀代子 (英語)
7組担任	小川 裕之 (英語)	学年付	赤木 智也 (理科)

= 4月行事予定 =

- 8日(水) 入学式
9日(木) 対面式 身体測定(上下体操服)
10日(金) スタディーサポート(国・数・英) 学年集会
芸術教科書販売: 昼休み 生徒昇降口
13日(月) 普通授業開始(1~6限) 自転車通学鑑札発行(放課後): 150円
16日(木) ~17日(金) オリエンテーション合宿 : グリーンピア三木
21日(火) 部登録
※ 中間考査 5月16日(土) ~20日(水) 予定

※重要なお知らせ

7月夏季補習は対象者を全員とし、午前中に行います。
期日は7月31日(予定)までとします。

三木高校 HP ご案内 <http://www2.hyogo-c.ed.jp/weblog2/miki-hs/>

学年通信 題字 「出藍」について

【出藍(しゅつらん)】

「出藍」・・・弟子の方が先生よりもすぐれていること。

語源は、<青は藍より出でて藍より青し>とある。青色の染料は、藍(あい)という草からとるが、それで染めた色は、原料の藍よりもさらに青い意味で、もとは、勉強に励めば、人はさらに高度な領域に達するという、学問の重要性を説いたもの。

70回生青学年の生徒達のこれからの成長をイメージして学年通信の名前にいたしました。